

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月1日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900623		
法人名	医療法人 恵心会		
事業所名	グループホーム めぐみ		
所在地	北海道旭川市錦町19丁目2166番地の149 (電話) 0166-55-2320		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月24日	評価確定日	平成22年4月15日

【情報提供票より】(平成22年3月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年11月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000~35,000円	その他の経費(月額)	10,500~18,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり			円

(4) 利用者の概要(3月4日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 83.7歳	最低	79歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北星ファミリークリニック いまみや歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体医療法人「北星ファミリークリニック」が家庭医療を専門としたクリニックとして、地域に根ざして、地域の人々が安心して暮らせ、病気を抱えながらも充実した人生を過ごせるための医療機関を目指した中の系列の鉄筋コンクリート造り2階建ての2階部分に平成12年11月に開設された1ユニットのグループホームです。また、理念の実践に向けて、職員一人ひとりが目指すべき具体的な目標を掲げて、目標の達成度を評価し、その達成に取り組んでいると共にOJT委員会が設置され、年間研修計画に基づいて職員の段階に応じた看護・介護の内部研修が定期的実施されてサービスの向上に活かされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的開催が改善課題として挙げられていましたが、成年後見制度について等具体的内容について話し合われていますが、今後も引き続き年6回以上の開催を目安に運営推進会議が開催されることを期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価を実施する意義を理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや振り返りの機会として利用され、外部評価の結果は、職員間で話し合われ運営推進会議にも報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の主な議題は 母体法人の家庭医療の取り組みについて 職員の意識改革への取り組みについて 地域との交流促進について 成年後見制度の地域への説明について 旭川市の指導監査結果について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が外部者へ意見や苦情等を言い表せるように玄関入り口に苦情受付箱を設置して、その機会を設け運営に反映されるように取り組んでいます。また、家族等の来訪時に要望や不安な点など話し合わせ、そこでの意見を職員間で話し合い、運営に反映できるように努めています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 子ども110番の事業所の指定を受けた活動や地域の高齢者のニーズの把握、「近文あい運動」事業参加や小学校の感謝の集いに招待を受けたり、交通安全パレード参加や地区社会福祉協議会主催の交流会参加を通じて地域との交流・連携に取り組んでいます。また、1Fフロアを地域の人々に開放して、研修会開催をする等検討されています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、地域との係りを大切にするグループホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、グループホームの運営理念を常に携帯し、理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。また、理念達成のために職員一人ひとりの具体的な目標を設定している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	子ども110番の事業所の指定を受けた活動や地域の高齢者のニーズの把握、「近文あい運動」事業参加や小学校の感謝の集いに招待を受けたり、交通安全パレード参加や地区社会福祉協議会主催の交流会参加を通じて地域との交流・連携に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する意義を理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや振り返りの機会として利用され、外部評価の結果は、職員間で話し合われ運営推進会議にも報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、利用者、家族、地域の代表（薬局薬剤師）、他施設の介護支援専門員、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、さらに定期的な運営推進会議の開催を期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地区社会福祉協議会や市主催の研修会、包括支援センターとの連携・交流を通じてサービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は、出納の報告を毎月実施している。また、定期的に日常生活の様子や健康状態など近況報告している。状態変化時には都度、家族に詳細な報告が行われている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が外部者へ意見や苦情等を言い表せるように玄関入り口に苦情受付箱を設置して、その機会を設け運営に反映されるよう取り組んでいる。また、家族等の来訪時に要望や不安な点など話し合わせ、そこでの意見を運営に反映できるように努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職や異動は少ない。また、利用者が馴染みの職員による支援を受けられるように利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>理念の実践に向けて、職員一人ひとりが目指すべき具体的な目標を掲げて、目標の達成度を評価し、その達成に取り組んでいると共にOJT委員会が設置され、年間研修計画に基づいて職員の段階に応じた看護・介護の内部研修が定期的実施されてサービスの向上に活かされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会、道北ブロック連絡協議会、ケア研究会で他施設との意見交換や交流が積極的に行われている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、散歩や買い物、調理の準備や茶碗拭き等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め入浴や食の嗜好の把握、散歩や買物など本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言、担当者会議で職員からの意見を取り入れた介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、定期的に担当者会議で見直しを実施している。また、状態変化時には、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院や往診、散歩や買物、外泊や外食等の支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所は、かかりつけ医や母体医療法人との連携で適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人・家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、方針が職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや個人情報の記録の扱いをしている。また、法人内で接遇委員会を組織し、新人研修も定期的実施されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか把握し、散歩や買物などの外出やゲーム等の楽しみごとを本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、調理や食事の準備、盛り付けや片付け、茶碗拭き等を職員と一緒にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら調理の準備や後片付け、散歩や買物など楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物、ショッピングセンターでの外食など戸外に出かけられるよう支援している。また、老人保健施設ふれあいに毎週出かけて音楽療法へ参加している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は日中鍵をかけずに開放している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>火災避難訓練が年2回実施され、地域の老人保健施設や商店、近隣住民等から協力が得られるように働きかけている。</p>		<p>今後は、緊急時に日ごろより地域の人々の協力を得られるよう、さらに働きかけていくことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>母体法人の管理栄養士による指導・助言を得て栄養バランスや摂取カロリーは把握されている。また、個別の嚥下状態の把握や具体的な水分・食事摂取量も記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。また、季節の飾り付けや観葉植物が多く栽培され、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、本人や家族と相談しながら、人形や家族の写真、観葉植物や使い慣れた家具などが持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。